

趣旨

- 徹底した「大学改革」と「国際化」を断行し、我が国の高等教育の国際通用性、ひいては国際競争力強化の実現を図り、優れた能力を持つ人材を育成する環境基盤を整備する。
- 本事業のこれまでの実践により得られた優れた成果や取組を国内外に対し戦略的に情報発信し、海外における我が国の高等教育に対する国際的な評価の向上と、我が国大学全体としての国際化を推進する。

1. スーパーグローバル大学創成支援

世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するための新たな取組や、人事・教務システムの改革、学生のグローバル対応力育成のための体制強化など、国際化を徹底して進める大学を重点支援。

(事業期間：最大10年間(2014年度～2023年度))

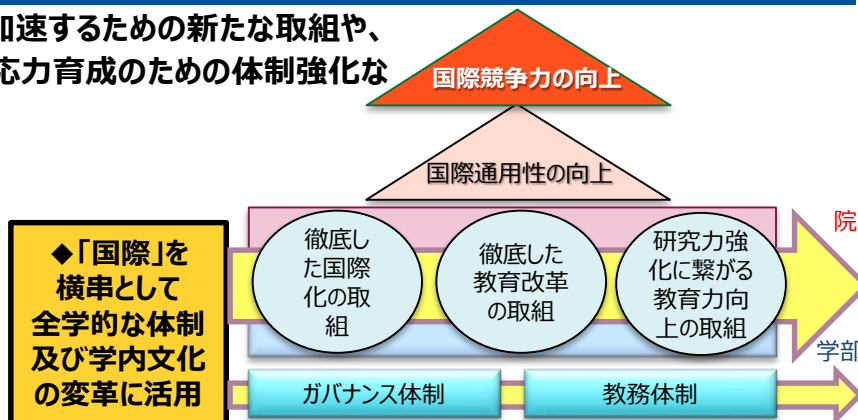
○トップ型 (13件×182,201千円)

世界ランキングトップ100を目指す力のある大学を支援

○グローバル化牽引型 (24件×78,430千円)

これまでの実績を基に更に先導的試行に挑戦し、我が国社会のグローバル化を牽引する大学を支援

※この他、審査・評価等経費 (23,445千円×1件)



2. 海外国際会議等でのAll-Japan展開、日本開催誘致

海外における我が国の高等教育に係るプレゼンスを戦略的に向上させるため、各種高等教育関係の国際会議等において、スーパーグローバル大学創成支援事業選定校を中心にAll-Japanでのブースやセッションの展開及び主要会議の日本への誘致を行う。

(事業期間：最大5年間(予定)(2019年度～2023年度) 単価等(予定)：140,000千円 ※取組を実施する事業選定校等を追加的に支援)

新規

3. 国際的評価の向上に資する戦略的国際広報

海外における国際的評価を飛躍的に向上させるため、デジタルマーケティング等の手法を用いながら本事業の優れた成果を戦略的に発信する。

(事業期間：最大5年間(予定) (2019年度～2023年度) 単価等(予定)：190,000千円 ※取組を実施する事業選定校等を追加的に支援)

新規

4. 国際化拠点プラットフォーム構築

本事業において得られた優れた事業成果を戦略的かつ効果的に選定大学以外の国公私立大学に普及し、我が国の大学全体の国際化を更に推進するため、地域の産業界や自治体・国際化の取組が優れた高等学校等と連携し地域国際化拠点プラットフォームを構築する。

(事業期間：最大5年間(予定)(2019年度～2023年度) 単価等(予定)：セントラルオフィス20,000千円×1件、リエゾンオフィス15,000千円×4件

※取組を実施する事業選定校等を追加的に支援)

新規

成果

事業選定37大学における
トップレベルの国際化の取組の
推進

(例)

事業開始前に比べ、

・外国語による授業科目数は
約2倍に増加

・受入外国人留学生数は
約1.5倍に増加

本事業の優れた成果や取組の
国内外に対する戦略的な情報
発信

・海外における我が国の
高等教育の**国際的な
評価の向上**
・我が国の**大学全体の
国際化の推進**